

4K8K時代の高解像度用スクリーン、今最高画質の拡散型「ピュアマットⅢ Cinema」

ピュアマットは2000年に誕生し、2002年映写用スクリーンとして製法特許を取得した、オーエスの技術の粋を結集したスクリーンです。初代ピュアマット(WF)から、バックコーティングの素材を追求したピュアマットⅡ(WF201)、暗部の階調を深くしたピュアマットⅡplus(WF202)、2010年にはハイゲインを追求し、フルHD対応としてピュアマットⅡEX(WF203)を発表。最新のWF302は、非常に素直な映像を映し出しながら、4K最大の魅力であるフォーカス感をしっかり実現する空気感を感じるスクリーンとして、評論家の先生諸氏からも完成度の良さに高評価をいただいた、最上級のスクリーン生地です。

WF302 新製品 モアレを 방지、高精細な映像を忠実に再現する4K対応スクリーンピュアマットはランダムに織られたファブリックスクリーンです。ピュアマットⅢCinemaは繊維の太さを従来の約半分にし、生地表面の凹凸を極限まで細かくして、ハイフォーカスを実現。またバックコート、表面コートのおかげによりゲイン1.0という、拡散型としてはとても明るいスクリーンです。

■3°ゲイン1.00±1.0% ■ハーフゲイン角60°以上

WF203 ピュアマットⅡEXは、フルHD用として最高のパフォーマンスを持つファブリックスクリーンです。

■5°ゲイン0.93±5% ■ハーフゲイン角60°以上

特殊なスクリーン

使う環境や目的、あるいは使用するプロジェクターなどにより、最適なスクリーンは異なります。オーエスでは、その条件を十分検討し最適なスクリーンをご提供します。

Vikuiti™ RPF リアプロジェクションフィルムスクリーン

わずか0.3mmの厚さの特殊フィルムにマイクロレンズを接着し、有害光を排除することにより、明るい場所でも美しい画像を結ぶサイネージに最適なフィルムスクリーンです。

RT504 インフォショット 対応機種：電動・手動スクリーン

両面視認を可能にした透過型スクリーン。拡散型巻取タイプのインフォショットに採用。

■5°ゲイン0.23±10% ■ハーフゲイン角60°以上

シルバー (3D型)

SD 2台のプロジェクターで、それぞれ偏光フィルターを通して右目用・左目用の画像を投写した時、その偏光性の強い光を、拡散させず、偏光状態を維持する、指向性の強い反射型スクリーン。

■5°ゲイン3.6±10% ■ハーフゲイン14°±5%

◎防炎品

プロジェクターマグネットシート 製品ページ▶P.51.52

フェライト磁石表面に、フッ素複合ポリエステル製の皮膜処理をし、ホットスポットを抑えた、自然な反射面に仕上げました。反射面はホワイトボードマーカーで書き込み・消去が可能です。パールに近い特性を持ちます。

■5°ゲイン1.45±10% ■ハーフゲイン角20°±5%

◎防炎品

ゴルフシミュレーター用スクリーン

オーエスの開発したゴルフシミュレーター用スクリーン

- ・低反発でゴルフボールが当たっても、跳ね返りが小さい
- ・ボールの衝撃音を吸収し、音が小さい
- ・プロジェクターの映像がくっきりとナチュラルに再現できる
- ・平面性を維持でき、耐久性に優れている

「ダブルチャージ組織」 ■5°ゲイン0.5±5% ■ハーフゲイン角60°以上

◎防炎品